

# ‘02 冬山合宿報告書

## 飛騨山脈 北ノ俣岳～黒部五郎岳

02.12.27～12.29 CL. 板倉, 亀山, 町田, 金子  
村越, 鈴木



黒部五郎岳遠景

## デンソー山岳部

### 【冬山合宿を振り返り】

(計画) 年度計画から深雪の山域に我々のトレースを刻もうという計画の下、春合宿、偵察山行と黒部五郎岳を中心に山行を組み進めてきたことは、安全登山につながる重要なポイントといえる

只、一度決めたからといって、参画メンバーのニーズその他を良く考え、最終的に山行計画を立てる必要があったと思う

(偵察山行) 偵察山行では、稜線の偵察ができなかったが、樹林帯については、細かいコース取りについては、押さえることができなかったが、コースの変化点についてはしっかりポイントをつかむことができていた。

反省とすれば、予想以上の積雪で、地形が完全に変わり、樹林帯でのコース取りが難しく、赤布の効率的活用を重視するべきであった。

(行動) ベテランを中心にトレースのない新雪に、自分達のトレースを刻む喜びを感じつつ、進むことができた。またその中で、メンバーシップも十分発揮された。

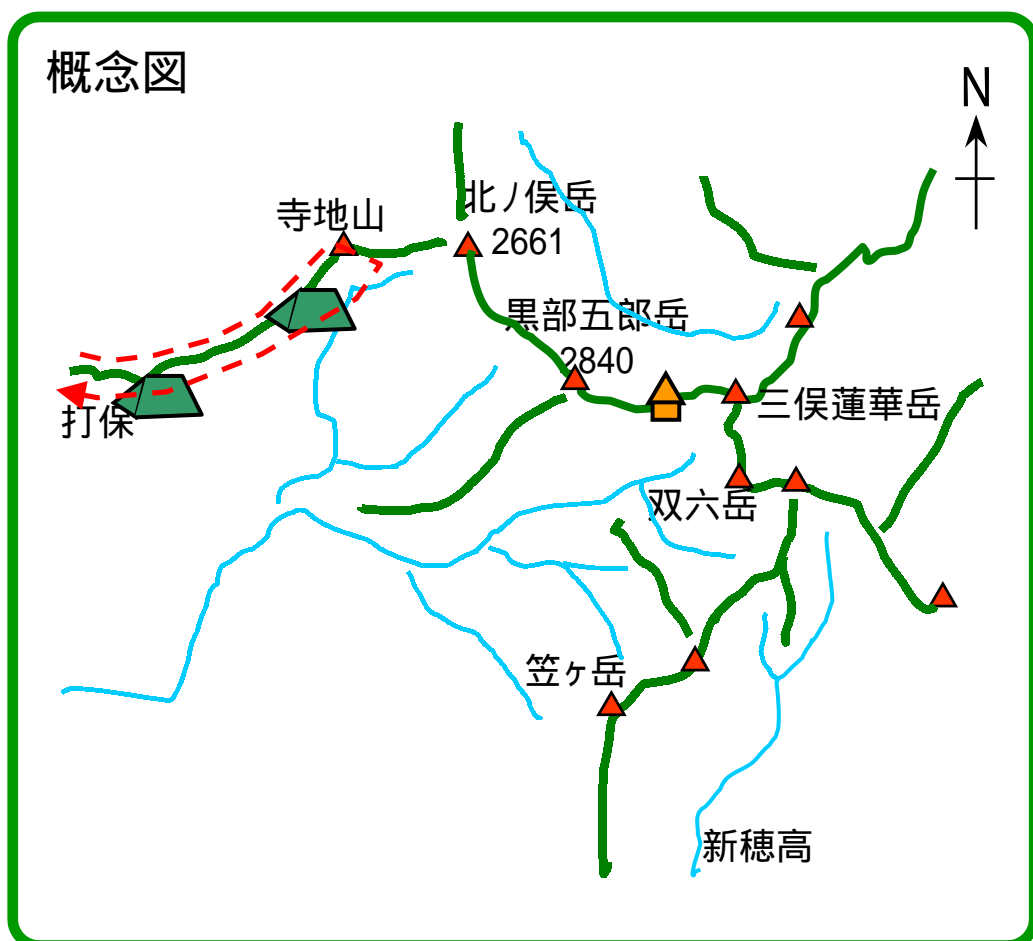
しかし、この山域の積雪量は予想以上に多く、初日のラッセルでメンバー全員黒部五郎岳への登頂意欲をそがれてしまったこと。また、事前に北ノ俣岳周辺での遭難記事を岳人でみな読んでおり、下山への心の余裕がなくなることへ不安もあり、寺地山で引き返すこととした。

リーダとして、黒部五郎岳への登頂を絶対目標とするならば、下山までの気象予測、また偵察山行での赤布を効率的につけていくこと。そして何よりも、メンバーの登頂意欲を掻き立てる努力が必要ではなかったかと反省する。

いずれにしても、結果としては我々の力量からすれば無事に帰れたことが、良い判断だったといえるだろう

- (食糧) 全体的に、軽量化が行われ行動にゆとりが持てた。  
内容は、ジフィーズ中心の食料であったが、味も良く十分満足のいくものであった。ぞう煮に関しては一人分では少ない様に思われた。
- (装備) 今回装備の故障が相次ぎ、今後の山行のためしっかり反省し、対策を講じていきたい  
コールマンの完全なるつまり(2台とも)。原因の断定はできないが、SIGボトルの内部汚れによる異物混入ではないかと思われる  
今回合宿終了後内部の洗浄を行ったが、Wガソリン注入用フィルターの交換、定期的  
に洗浄が必要と思われる。  
また、現地での分解清掃等構造を理解しておく必要がある  
(平地合宿等での、技能伝承必要)  
GASタイプへの完全切替  
ラジオの故障(冬山では命取りになりかねない) - 原因不明  
テントについては、エスペースジャンボはよっぽど体力差がないと、背負った人が負担となり、  
行動に支障が出るので、冬山では5人以上の場合、軽いテント二つに分ける方が、得策で  
はないかと考える。

最後に、留守部員の方々をはじめ、差し入れをいただいた方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。  
(CL.板倉・記)



## 【行動記録】

### 【4月27日(土)】 雪

- 0:18 高山着
- 5:30 はとタクシー発
- 8:00 打保バス停着
- 8:30 打保バス停発
- 9:40 林道ゲート1本
- 11:10 林道電線手前1本
- 12:15 林道電線後1本
- 14:10 沢高巻き後1本
- 14:40 テン場着(尾根取付)

前夜刈谷駅ホームに20:30に集合し、部長他家族の方々に見送られて20:52の快速で出発する。岐阜で高山線に乗換え高山駅に向かう。列車内で差入れのビールで合宿の成功を願って乾杯。0:18高山駅着。バス停で野宿の予定が、町田さんの交渉のおかげで、タクシー会社の事務所の2Fホールを提供してもらえることに。寒さをしのげ快適に寝ることができた。明けてジャンボタクシーで打保に向かう。神岡に向かうにつれて積雪は多くなり、2時間半かかってなんとか打保バス停到着。降り続く雪の中準備を整え8:30出発する。林道に入ると膝下まで積雪が

あるが雪は軽くワカンなしで進む。15分ごとにトップを交代しながらラッセルしていく。ゲート入口で1本。2ピッチ目よりワカンを着ける。積雪は膝上まであり、次第に雪が重くなりペースが落ちてくる。目印の送電線までなかなか到達できず1本。3ピッチ目よりトップはザックを置いてラッセル、無雪期なら1ピッチの林道に3ピッチを要する。4ピッチ目は沢の渡渉があり、対岸に上がる時に雪の足場が崩れ乗越すのに苦労する。また沢を高巻く所では、もろい雪の斜面を緊張して通過する。高巻き後1本取り、尾根取付きの看板の手前で本日の行動終了。整地をしてテントを張る。今回は装備の軽量化に勤めたが、8人用テントが重く、ラッセルと不安定な雪の足場でかなり体力を消耗してしまった。明日の長い尾根のラッセルに備え、21時前就寝。  
(鈴木)

### 【12/28(土)】 快晴

- 4:30 起床
- 6:45 テン場出発
- 8:00 尾根への上り
- 9:45 尾根上
- 11:25 水の平後の尾根上り
- 13:00 分岐手前
- 14:50 テン場着



快晴。今日も深いラッセルの中歩きはぎめる。天候は最高。

昨日同様ラッセルが深く、なかなか前に進めず苦しむ。

尾根への取り付きから始まり、いきなりの急登を、先頭はザックをおいて、ラッセル。皆が一通り先頭を終えと一本。白山、乗鞍、等の峰が広がる。急登を登り切って、尾根に出た所で、北ノ俣岳、その右奥に目指す、黒部五郎岳の頂が、白くクッキリと見て取れる。「遠いな」という思いがする。湿地へ下り、再び急登をつめる。寺地山への途中でテントを張り、明日の為に、少しラッセルをしておく。雪がパラパラと降り始め、明日の天候に不安を残し、行動終了。(村越)

## 【12/29(日)】 終日雪

### 【コースタイム】

4:30	起床
6:10	出発
7:45	寺地山着
8:00	発
8:40	テン場着
9:40	発
10:45	湿地帯着
10:55	発
14:20	バス停着



本日の行動予定は、テント場より北ノ俣岳アタックである。金子・町田は寺地山までのサポートで精鋭4名がアタックする。

昨日、亀山・村越が残業で付けたトレースをヘッドランプで出発する。30分程度ではあったが日の出前の樹林帯の広い尾根に付いたトレースは有効であった。帰路を考えて赤布を付けながらのラッセルで寺地山にたどり着く。(標識等は雪の下で地形から寺地山と判断した)降雪はやむことなく、視界がきかない、又好天の期待もうすい事からリーダーの判断で寺地山を今合宿の最高点とし、全員撤退とする。テントを撤収して登山口まで下山する計画に変更する。

昨日のトレースは夜来の降雪で半ば埋まり(部分的にはまったく埋まり)再びラッセルしながらの下降となる。あわよくば13:30打保発の最終バスをターゲットに行動するが深雪に足をとられ、たいしてスピードが上がらず14:20分バス停着となる。バス停にテントを張り翌朝8:00のバスを待つ。

打保の酒屋でアルコールを仕入れ、ラッセルに終始した合宿を振り返りながらゆっくり雪里の一夜を明かす。  
(町田 修)

### 合宿感想



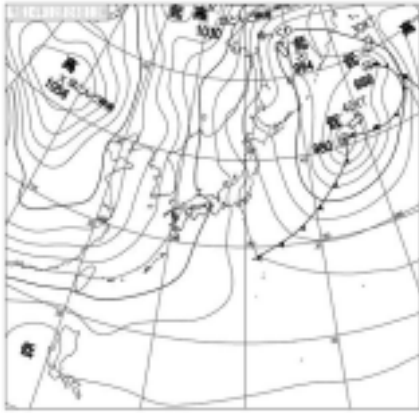
林道からの深いラッセル、初めてのラッセルでもあり、膝が上がらず、非常に疲れた山行であった。ジフィーズ中心の食料であったが、味も良く十分満足のいくものであった。ぞう煮に関しては一人分では少ない様に思われた。 村越

今回の合宿では、目標の黒部五郎岳に到達できず、寺地山止まりだったのは残念であったが、3日間深雪をラッセルしトレースを付けていくことは、雪上をバランス良く効率的に歩くよい経験となった。また体力的にはきつかったが、ラッセルの楽しさも少し実感することができた。

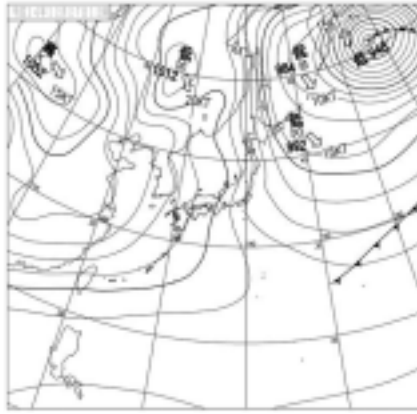
今年は春合宿から始まり夏合宿、偵察山行、そして冬合宿と1年を通した活動の中で、様々な経験することができた。今シーズンで足りなかった体力面、技術面の向上に取り組み来シーズンの山行に向けて頑張っていきたい。 鈴木

# 【気象】

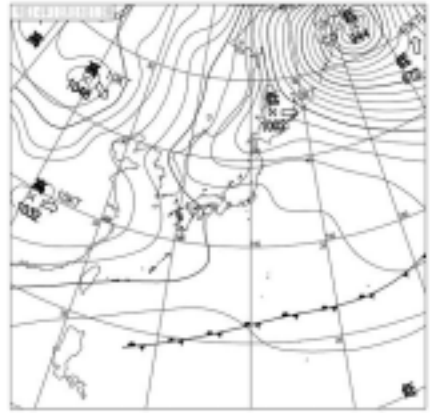
天気図は12時のものを掲載



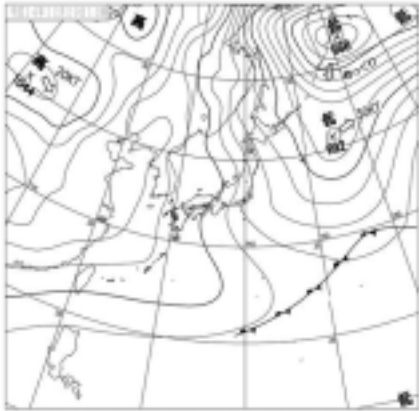
12/26 刈谷 高山  
天候 雪  
岐阜駅では寒く感じ、高山に着くと深々と雪が降っていた



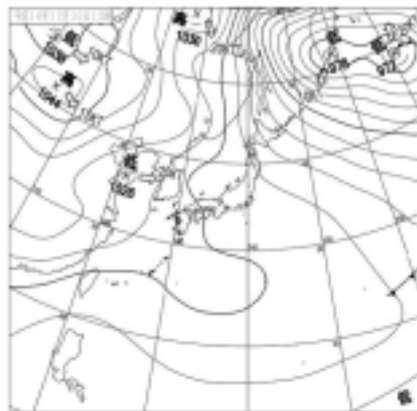
12/27 入山日 登山口  
天候 雪(弱い冬型)  
朝から除雪車がフル稼働  
雪は、降ったり止んだり



12/28 登山口 JP上  
天候 快晴  
中国南部の優勢な高気圧により、午前中は快晴。午後、日本海に気圧の谷が入り、夕方より降雪となる



12/29 寺地山往復 打保下山  
天候 雪  
日本海を弱い気圧の谷が通過  
終日雪(昨日のトレースを覆い隠す)



12/30 打保 刈谷  
天候 晴れ  
一時的に等圧線が広がり、晴れ間が除く。朝鮮半島の西には、弱い気圧の谷からできた低気圧が進んで来る

# 【会計】

支出	項目	内容	金額	*6	
	乗車券	刈谷 - 高山	3,570	21,420	6人分
	タクシー	高山 - 打保		31,660	
	バス	打保 - 神岡	810	4,860	
	バス	神岡 - 高山	1360	8,160	
	乗車券	高山 - 刈谷	5670	34,020	特急券含む
	食糧			22,488	
		計		122,608	
		一人あたり		20,435	
収入	差し入れ	藤田健治さん		5,000	
		竹内幹雄さん		5000	
		忘年会参加者		10000	
		計		20,000	

多くの差し入れありがとうございます

合宿会計	支出	支出合計	101,188	往路-乗車券は個人
	収入	差し入れ	20,000	
		会費	60,000	
			3,531	